

仙台商工会議所2020年度事業計画

仙台にとっての転換期である今、次のステージに向けた挑戦の年に!

東日本大震災から10年目の年度となりました。全国的に人口減少・少子高齢化が進展していく中、仙台・宮城・東北でも、継続的に域内消費と経済循環の最大化を図るために、地域を挙げた取り組みが必要となります。また、企業はあらゆる諸課題に対してますますスピードある対応が求められるとともに、地域全体としてもグローバル化やSDGs(持続可能な開発目標)などの新しい考えを根付かせていくことが大切になってきます。さらに宮城県と仙台市では2021年度から新たな「総合計画」による地域づくりをスタートします。

こうした時代の転換期を迎える中において、仙台が今後新しい付加価値を創造していくには、都心の再構築を進めながら地域経済の持続的発展を図っていかねばなりませんし、そのためにも、地域企業の力強い事業推進、そして産業と雇用の高度化が重要です。

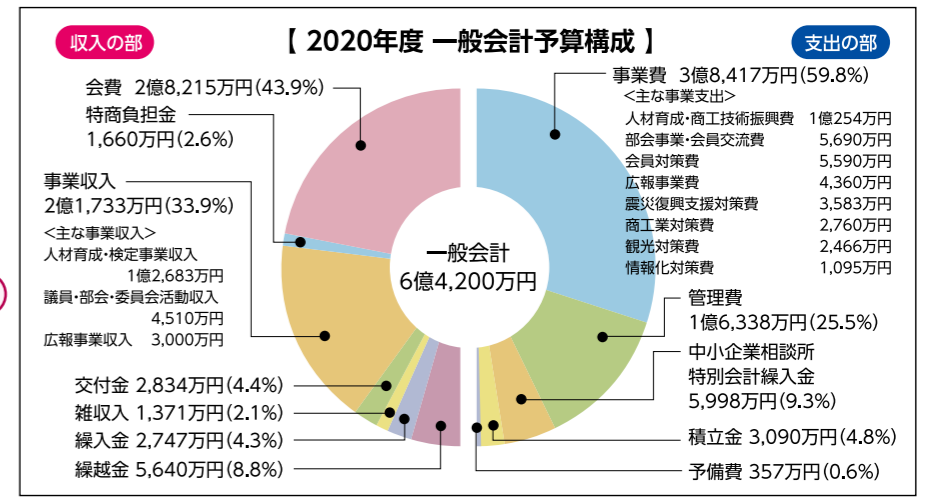
仙台商工会議所は、2020年度も、第4期中期ビジョン・行動計画に掲げる3つの力の強化(右図)を通して、地域総合経済団体としての存在感を一層高めつつ、関係機関との連携を強固にしながら取り組みを進めていきます。

第4期中期ビジョン・行動計画

2019年度 1年目	2020年度 2年目	2021年度 3年目
---------------	---------------	---------------



震災復興の先を見据えた「地方創生」の実現へ



Ⅱ 地域力 + 都市力向上

新たなにぎわいと付加価値の高い経済活力を生み出す仙台の都市機能強化を目指します!

主な地域課題・商工会議所の使命	仙台商工会議所の2020年度の主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 1. 都市機能の強化とにぎわい創出 2. 交流人口と観光消費の拡大、国際観光都市を目指した態勢強化～東京五輪への対応と東北DC(2021.4~9)に向けた準備～ 3. 市内商店街の活性化 / 伝統行事や文化・スポーツの活用 4. 各種インフラ整備・利活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ① 仙台商工会議所が策定した仙台の将来像についての提言「チャレンジシティ仙台」をベースとする官民一体となった街づくりの実践(定禅寺通や青葉通の活性化、市庁舎建て替え、音楽ホール整備、県民会館移転後の跡地活用等)。 ① 国際化30周年を迎える仙台空港の利活用やMICE誘致の促進などを通じた、イン・アウトバウンド双方での交流人口拡大。 ② 「東京五輪」、「東北DC(デスティネーションキャンペーン)」を見据えたおもてなし施策、商店街等におけるインバウンド客などの受入環境整備を通じた、観光・ビジネス客による消費拡大の推進。 ③ 東北絆まつりの東京五輪関連行事への参加や、東北DCを視野に入れたオール東北によるプロモーションの展開。 ① 市内商店街の利用拡大を目指したキャッシュレス化の促進、地域の歴史・文化・イベントなど地域資源等を生かした回遊性向上・連携強化事業の実施。 ② 「仙台七夕まつり」や「仙台初売り」をはじめとする地域伝統行事を、次世代につなぐための、あり方の検討。プロスポーツを生かした地域活性化の推進。 ① 地方創生の実現や地域経済発展を支える、仙台国際空港、仙台国際貿易港、仙台東道路等、各種インフラ整備に向けた要望と利活用促進。

Ⅲ 組織力

1万会員達成に向けて!! 発信力を強化し、会員・地域とつながる身近な商工会議所を目指します!

商工会議所の課題・使命	仙台商工会議所の2020年度の主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 1. 地域商工業者の声の集約 2. 会員企業の利用率・満足度向上 3. 商工会議所活動の発信力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ① 震災復興や仙台の都市力向上、企業・地域の課題解決を図る提言・要望の実施。 ① 継続的な会員訪問活動によるニーズ把握とサービス拡充。健康経営の推進。 ② 職員のスキルアップや公的資格取得を通じた地域・企業への支援力強化。 ① 月報「飛翔」のリニューアル(全ページカラー化)、ホームページやメールニュース、SNS、プレスリリース等を活用した最新情報の発信。 ② 震災の記憶と商工会議所の活動を後世につなぐための震災10年史の編纂、創立130周年(2021年)に向けた記念事業等の準備。

新型コロナウイルスによる地元経済への影響を鑑み、仙台商工会議所として、状況変化に応じながら、事業所の経営支援および地域の景気回復に向けた各種事業を積極的に展開してまいります。

表の見方

- 左欄に会員の皆さんと共有したい「主な地域課題」を挙げ(★印は本年度の重点課題)、右欄にそれらに対する「商工会議所の主な取り組み」を示しています。
- 各項目に該当するSDGsのアイコンを用い、取り組みの社会的な意義や効果を示しています。
- ここでご紹介しているのは本年度の特徴的なものです。

I 企業活力 + 生産性向上

人口減少や国内マーケットが縮小傾向にある中でも、仙台が持続的に発展していけるよう「地域企業の稼ぐ力」の強化を目指します!

主な地域課題・商工会議所の使命	仙台商工会議所の2020年度の主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ★ 1. 地域企業の経営力強化 / 地域をけん引する中小企業の育成 2. ビジネスチャンスの拡大・創出 ★ 3. 企業の人手不足解消 / 企業のデジタル化と生産性向上 / 働き方改革の推進 / 若者・女性が活躍できる場の拡大 ★ 4. 大企業承継時代への対応 5. 頻発する自然災害等への対応 6. 新産業の創出・活用 / SDGsへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ① 商工業者の持続的発展に向けた「経営のライフサイクルに応じた伴走型支援(経営分析、事業計画策定、資金調達、補助金申請、海外展開、デジタルマーケティング、創業・開業後のフォローアップ)」の強化。 ② 経営戦略を持ってさらなる高みを目指す事業者への「経営発達支援計画」に基づく集中支援。 ① 「伊達な商談会」等を通じた東北一円における販路開拓・拡大支援。 ② 新たな価値創出および企業の発信力強化を目指した、「新商品・新サービスの開発支援と合同プレス発表会の開催」。 ③ 新たな人脈形成やビジネスチャンス創出につなげる「会員交流会」の開催。 ① 学生やUIターン希望者から“選ばれる企業”となるための、採用力強化に向けたセミナーの開催。 ② 地元企業の魅力を伝え就職を後押しする「就職情報交換会」の開催。 ③ 働き方改革・多様な人材活用・デジタル化推進(AI・IoT・5G導入等)に向けた相談対応や各種セミナー等による職場環境整備サポート。 ① 地域の雇用や技術を次世代へ継承するための「事業承継センター」の運営。 ② 企業訪問・セミナーや広報媒体を活用した事業承継に関する潜在ニーズの発掘。 ③ 株式譲渡等に向けた“企業価値診断”や“事業承継税制”の活用など、後継者の有無に関わらない円滑な事業承継の支援。 ① 気候変動や自然災害、感染症等による事業中断リスクの啓発とBCP(事業継続計画)策定支援。非常時における緊急経営相談窓口のスピーディーな開設。 ① “次世代型放射光施設”の利活用促進に向けた産学官連携による成果や活用事例の紹介。 ② SDGs達成に導くSociety5.0・地方創生と連動した新ビジネスモデルの創出支援。